

後席用モニター取付キット(アルファード／ヴェルファイア)

RKTT-AV

取付説明書

車種名	年式	型式	
アルファード ヴェルファイア	H20年5月～現在	GGH20W GGH25W	ANH20W ANH25W
アルファード ハイブリッド ヴェルファイア ハイブリッド	H23年11月～現在	ATH20W	

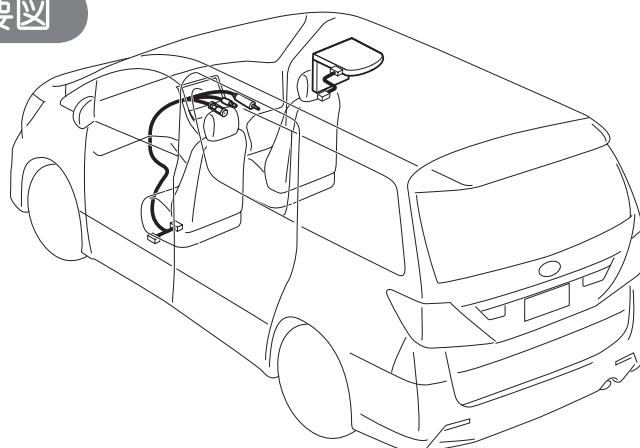
お客さまへのお願い

- この説明書はアルファード／ヴェルファイア専用です。
取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。必ず取り付け前に加工内容および注意事項をご確認ください。(P.7～9)
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」(モニター本体に同梱)、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」(モニター本体に同梱)、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

—販売店様へ—

- 本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。車両部品の加工については必ずお客様にご確認のうえで作業を行ってください。(P.7～9)
- 取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



目次

取り付ける前に

作業の進め方	2
構成部品	3
安全に正しくお使いいただくために	4

取付要領

接続のしかた	6
ルーフヘッドライニングの切り取り	7
車両部品の取り外し	10
アースコードの接続	12
ブラケットの取り付け	16
ハーネスの取り付け	18
後席用モニターの取り付け	20

取付後の確認

取り付け後の作動確認	23
------------	----

作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

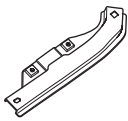
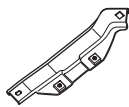
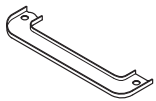
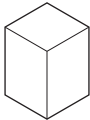
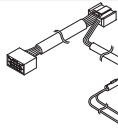
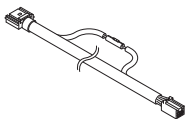
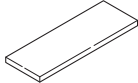
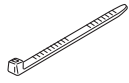
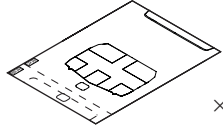
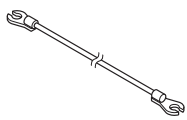
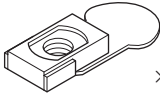
作業の進め方

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1) 構成部品の確認 | (☞構成部品) |
| 2) バッテリーの⊖端子を外す | |
| 3) 接続を確認する | (☞接続のしかた) |
| 4) ルーフヘッドライニングを加工する | (☞ルーフヘッドライニングの切り取り) |
| 5) 車両部品を取り外す | (☞車両部品の取り外し) |
| 6) アースコードを接続する | (☞アースコードの接続) |
| 7) ブラケットを取り付ける | (☞ブラケットの取り付け) |
| 8) ハーネスを取り付ける | (☞ハーネスの取り付け) |
| 9) 後席用モニターを取り付ける | (☞後席用モニターの取り付け) |
| 10) バッテリーの⊖端子を元に戻す | |
| 11) 作動確認をする | (☞取り付け後の作動確認) |

必要工具

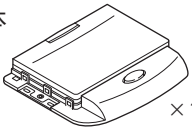
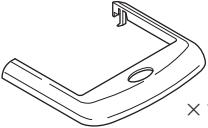
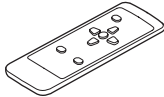
プラスドライバー、マイナスドライバー、ボックスレンチ、トルクレンチ、ラチェットハンドル、リムーバー、クリップ外し、ニッパ、プライヤー、カッターナイフ、セロハンテープ、マスキングテープ、保護メガネ、保護手袋(ケブラ手袋等)、押しピン

●キット関係

① ブラケット (R)  ×1	② ブラケット (L)  ×1	③ ブラケット (補助)  ×1
④ グロメット  ×2	⑤ タッピングスクリュー (φ5×9)  ×2	⑥ 六角ボルト (M6×10)  ×8
⑦ スポンジスペーサー (ノーマルルーフ用)  ×1	⑧ メインハーネス  ×1	⑨ ルーフハーネス  ×1
⑩ ハーネス固定テープ  ×2	⑪ バンドクランプ  ×5	⑫ 型紙  ×1
⑬ アースコード  ×1	⑭ インプルナット (M6) (ノーマルルーフ用)  ×1	⑮ 歯付き座金 (ノーマルルーフ用)  ×1
⑯ 六角ボルト (M6×10) (ノーマルルーフ用)  ×1		

※その他の構成部品(取付説明書等の資料類)

●後席用モニター本体関係

⑰ 後席用モニター本体  ×1	⑱ モニターカバー  ×1	⑲ リモコン  ×1
--	---	---

※その他の構成部品(取扱説明書、保証書等の資料類)

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

⊘ : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

🔧 アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

❗ 本機はDC12V⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車等の24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

❗ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。

プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

⊘ 本機を次のような場所には取り付けしないでください。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

❗ 穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。

破片等が目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

⊘ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。

保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

⊘ 本機を分解したり、改造しない。

事故、火災、感電の原因となります。

❗ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。

規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⊘ 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しない。

そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

⊘ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

⊘ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

❗ 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。

ショートにより火災、感電の原因となります。

❗ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめる。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくこと事故の原因となり危険です。

⊘ 指定の後席モニター以外のものを装着しない。

本製品を本来の目的以外に使用しないでください。

⊘ 本製品に装着した後席モニターにぶら下がったりしないでください。

事故や破損の原因になります。

❗ シートベルトを必ず着用する。

急発進、急停車等での事故防止のため、乗車する際は必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しない場合、事故や怪我の原因となります。

❗ 運転中に操作をしたり、画面を見ない。

運転中の操作や、画面の視聴は、事故や怪我の原因となります。操作を行う場合や、画面を見る場合は、安全な場所に停車してください。

❗ 取付説明書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

注意

❗ 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

❗ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

⊘ 雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

⊘ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

⊘ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けない。

金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

⊘ 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。

通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗ コードが金属部に触れないように配線する。

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗ コードの配線は、高温部を避けて行う。

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

⊘ コード類を決して切断しない。

コード類には、ヒューズ等が付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⊘ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。

機器を動作させるための電流量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠ コード等の車内への引き込みは、十分注意する。

雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

⊘ 本機を車載用として以外は使用しないでください。

感電や怪我の原因となることがあります。

⚠ ネジ等の部品は大切に保管する。

ネジ等の小物類は、幼児の手が届かないところに保管してください。飲み込んだり、怪我の原因となります。

⚠ ネジ等をしっかりと締める。

しばらく走行したのちに各部にがたつき等緩みがないことを確認してください。事故や怪我、故障の原因となります。

⚠ 製品取り外し後、内装に装着跡が残ることがあります。

本製品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止のため内装に密着し固定する仕様です。後席モニターを取り外し後、内装に装着跡が残る場合があります。

⊘ 電動ドライバーは使用しない。

電動ドライバーは調節が難しく、ネジ穴や車両を破損する恐れがあります。怪我の原因となります。

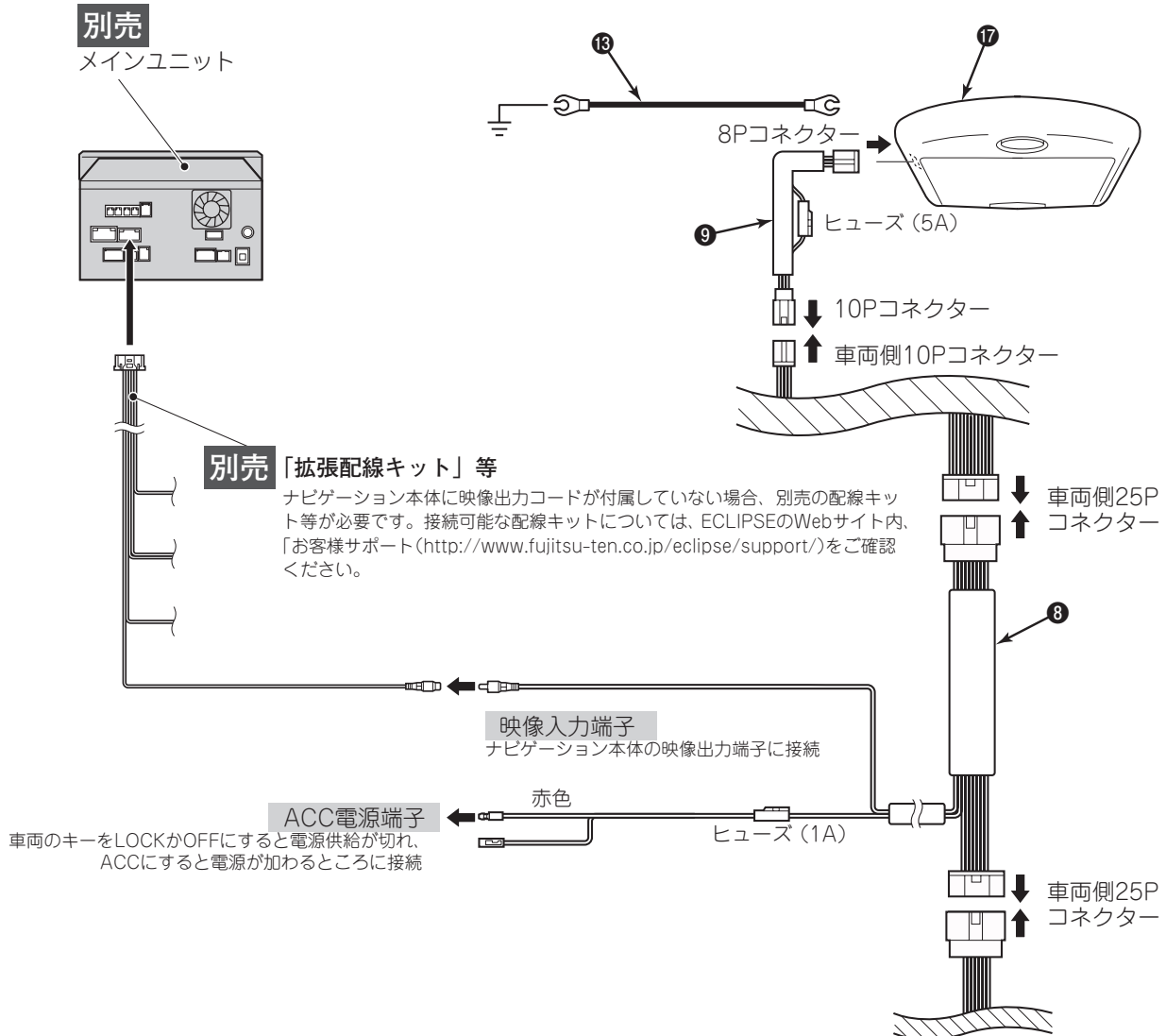
⚠ 本機の取り付けには、車両部品の加工が必要です。

本機を取り付ける前の状態に復元するには、部品の交換が必要です。ただし、加工した車両部品については、車両メーカーの保証対象外となるおそれがあります。
また、本書に従って車両部品の加工を行った結果による車両価値の変動や評価、車両メーカーの保証が受けられなかったことによる修理・交換費用等については弊社では補償いたしかねます。

●接続のしかた

⚠ 注意

- メインユニットや取付キット付属の接続要領を参照して接続してください。
- 接続しない端子は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。

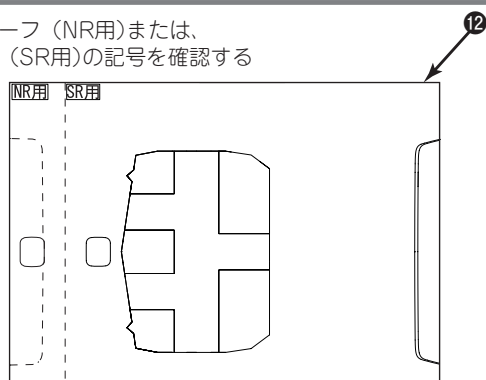


●ルーフヘッドライニングの切り取り

⚠ 注意

- 取り付け作業は、ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。天井にシワが残ります。
- 車両部品を取り外す前にルーフヘッドライニングの加工を行ってください。
- 車両部品(フロントピラーガーニッシュ、アッパートリム等)脱着の際に、ウェザーストリップを取り外した場合は、車両部品を元に戻した後、ウェザーストリップを元に戻してください。
- 加工したルーフヘッドライニングをもとの状態に復元するには、部品交換が必要になります。
- 加工したルーフヘッドライニングについては、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。

ノーマルルーフ (NR用) または、
サンルーフ (SR用) の記号を確認する



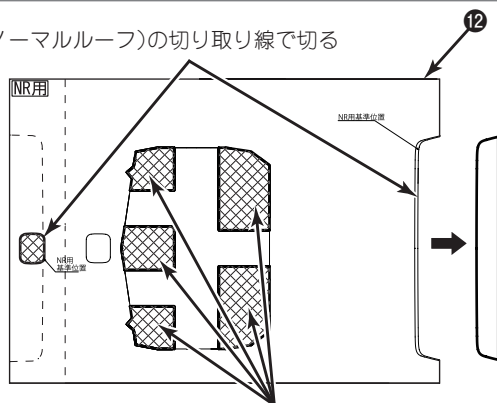
1 型紙を準備する

⚠ 注意

- ノーマルルーフ用とサンルーフ用の型紙⑫が共通となっています。

- ① ルーフヘッドライニング加工用型紙⑫のノーマルルーフ用またはサンルーフ用の型紙基準位置を確認する。

NR用 (ノーマルルーフ) の切り取り線で切る



ハッチング部 (5箇所) を切り取る

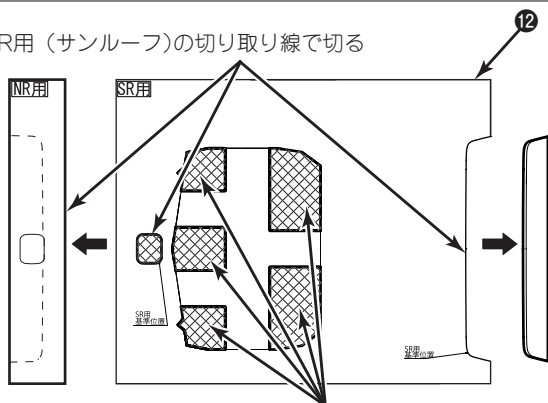
■ ノーマルルーフの場合

- ② ノーマルルーフ用の型紙基準位置を確かめて、カッターナイフやはさみ等で切り取り線に沿って切り取る。

🔧 アドバイス

- カッターナイフやはさみ等を使用して、型紙基準位置およびマーキング位置を切り取ってください。

SR用 (サンルーフ) の切り取り線で切る



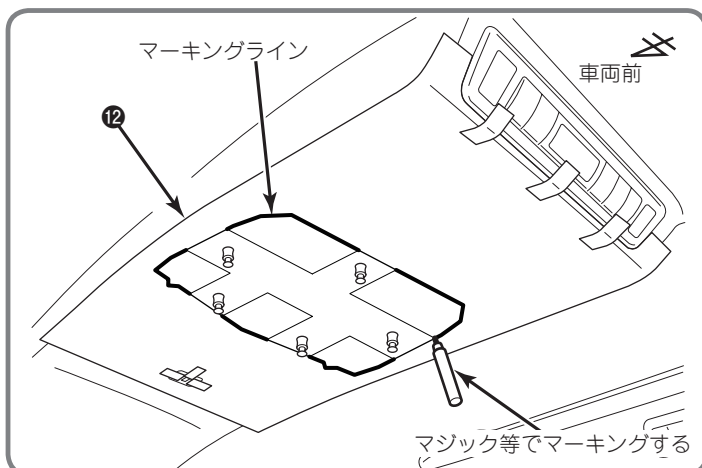
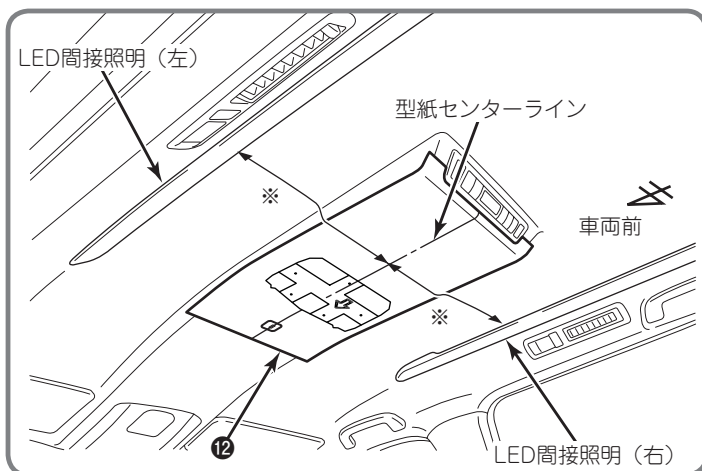
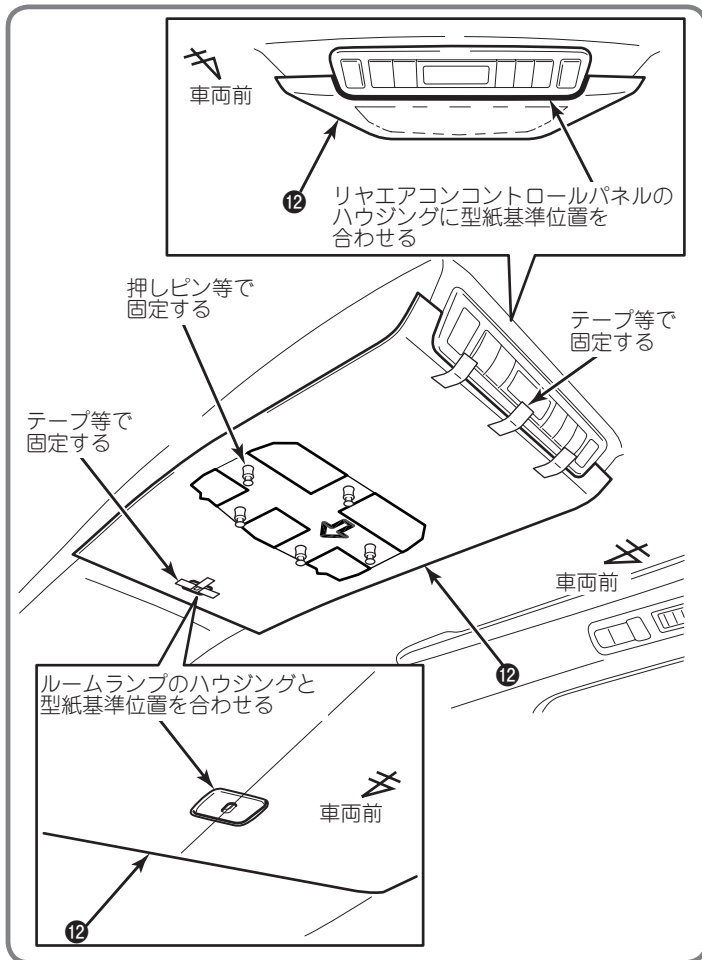
ハッチング部 (5箇所) を切り取る

■ サンルーフの場合

- ③ サンルーフ用の型紙基準位置を確かめて、カッターナイフやはさみ等で切り取り線に沿って切り取る。

🔧 アドバイス

- カッターナイフやはさみ等を使用して、型紙基準位置およびマーキング位置を切り取ってください。



2 型紙を車両に合わせる

- ① 型紙基準位置(ルームランプとリアエアコンコントロールパネル)をルームランプハウジングとリアエアコンコントロールパネルのハウジングに合わせる。
- ② 型紙¹²をテープおよび押しピン等を使用して、ルーフヘッドライニングに仮固定する。

アドバイス

- ルームランプは1、2列目座席間天井部にあるルームランプを示しています。
- 左図はノーマルルーフの場合を示しています。サンルーフの場合も同様に作業を行ってください。

- ③ 型紙¹²のセンターラインとLED間接照明(左右)を測定し、左右※印部寸法が同じ値になるように型紙¹²を調整する。
- ④ 型紙¹²を押しピン等でルーフヘッドライニングに固定する。

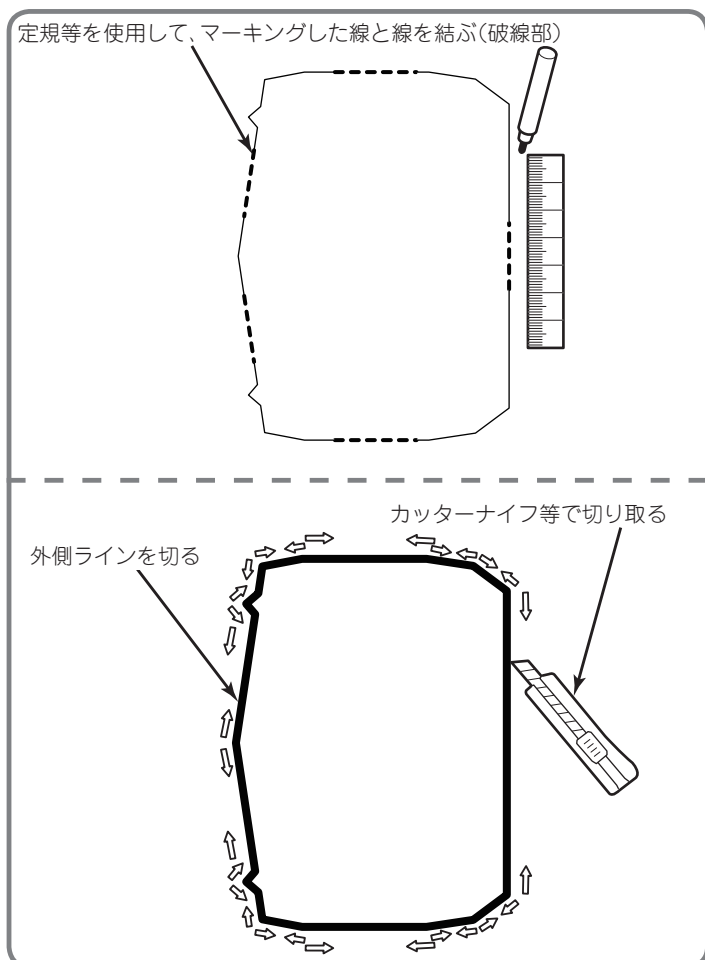
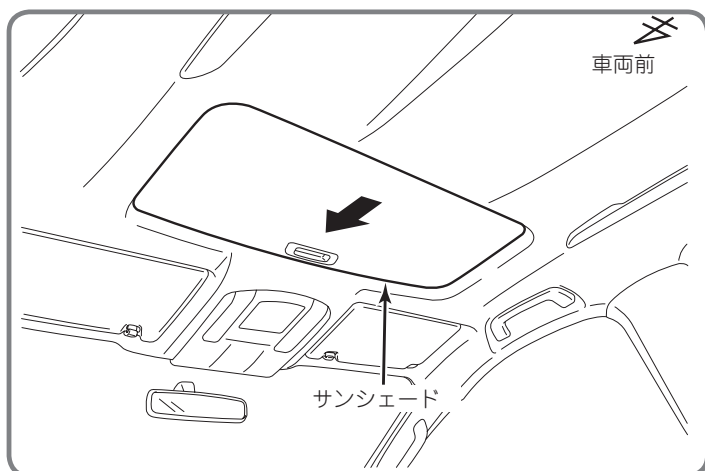
⚠ 注意

- 型紙¹²の型紙基準位置をしっかりと合わせて固定してください。左右方向の車両中心線と型紙中心線とのズレ量を±5mm以内に合わせてください。ズレ量が大きくなると、後席用モニターと天井との間に隙間が発生する恐れがあります。

- ⑤ 型紙¹²のマーキングライン(太線部)に沿ってルーフヘッドライニングにマジック等でマーキングする。
- ⑥ 型紙¹²を取り外す。

⚠ 注意

- 型紙¹²を取り外す際、車室内に押しピン等を残さないようにしてください。押しピン等でケガをする恐れがあります。



3 ルーフヘッドライニングを切り取る

■ サンルーフの場合

- ① フロントサンルーフのサンシェードを開める。

⚠ 注意

- 切り取り作業を行う際、サンルーフのサンシェードが開いているとサンシェードを傷付ける恐れがあります。

■ 共通

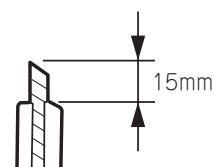
- ② ルーフヘッドライニングにマーキングした線と線を、定規等で結ぶ。
- ③ ルーフヘッドライニングのマーキング部をカッターナイフ等で切り取る。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングを切り取る際、保護メガネと保護手袋(ケブラ手袋)を着用して作業を行ってください。これら保護具を着用しないで作業を行うと、切り粉が目に入ったり、カッターナイフやガラス繊維で手などにケガをする恐れがあります。
- 天井裏の車両ハーネスを切断しないよう注意して作業を行ってください。

🔪 アドバイス

- カッターナイフ等の刃先は15mm程度出して切り取り作業を行ってください。



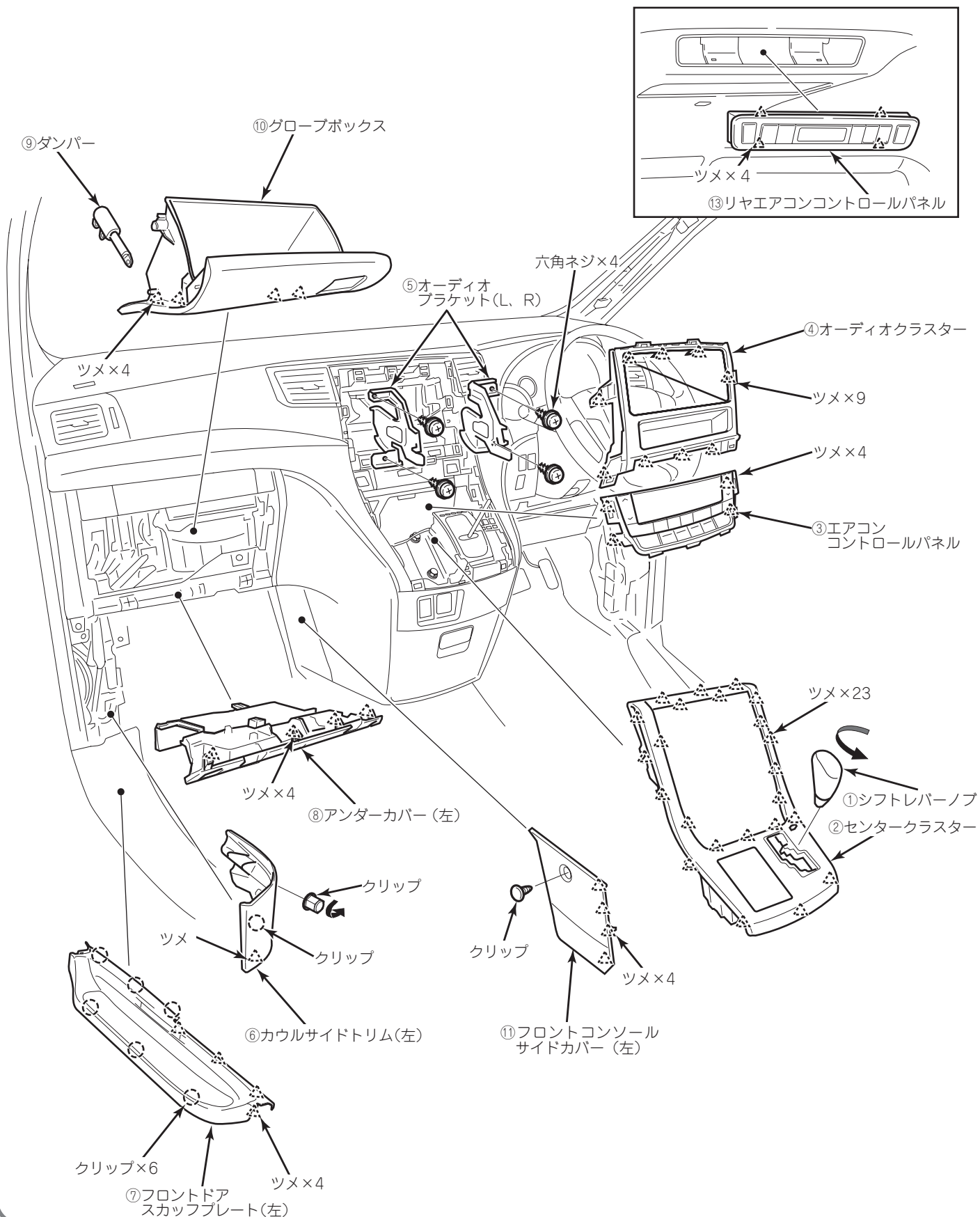
- 矢印の向き➡に合わせてカッターナイフの刃を向けてください。
- 切り取り作業後に車室内に落ちた切りくずを取り除いてください。
- マーキングしたラインの外側を切り取ってください。

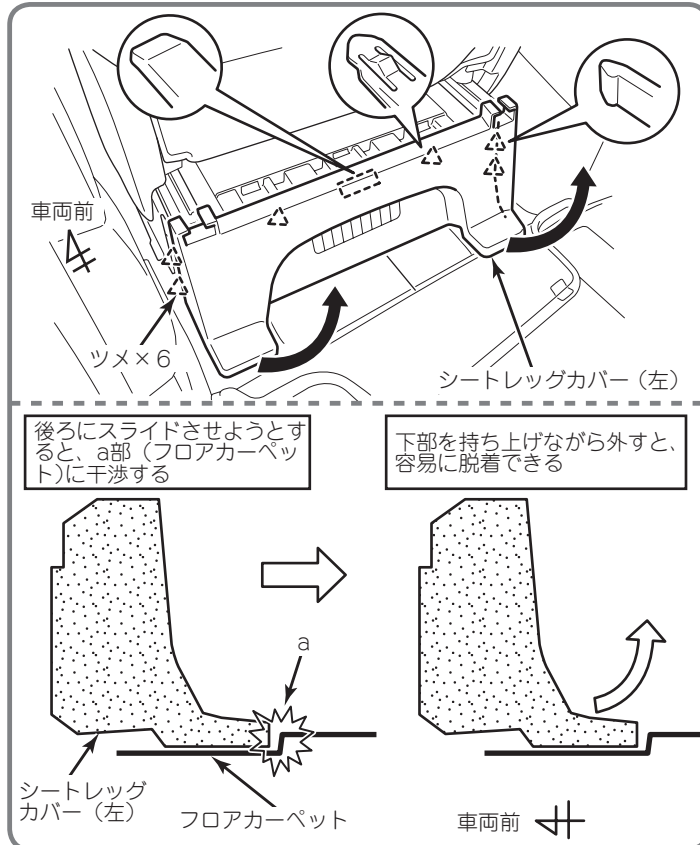
●車両部品の取り外し

⚠ 注意

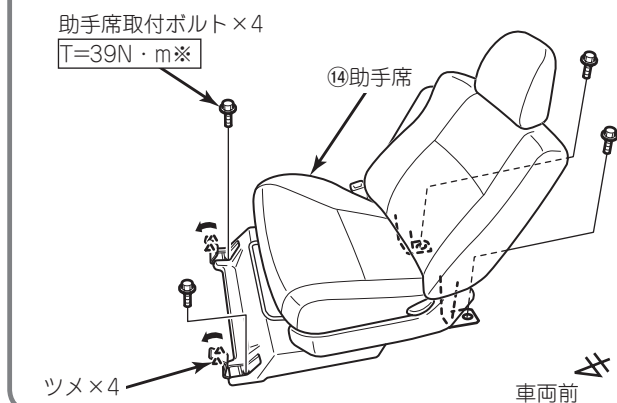
- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

・下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

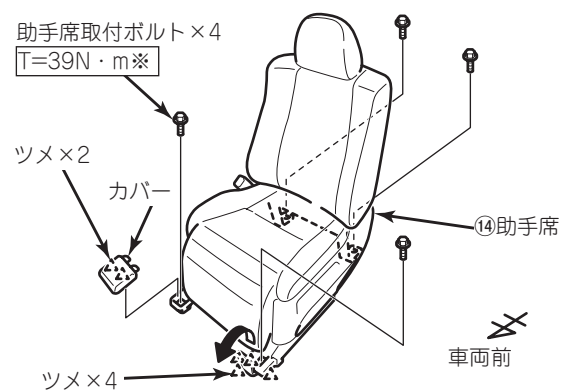




■ マニュアルシートの場合

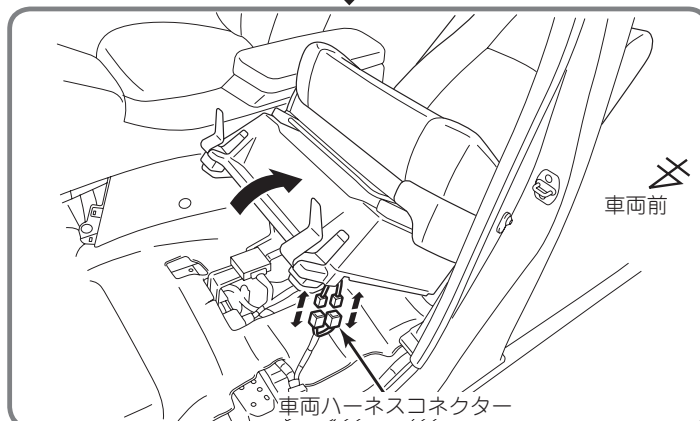


■ パワーシートの場合

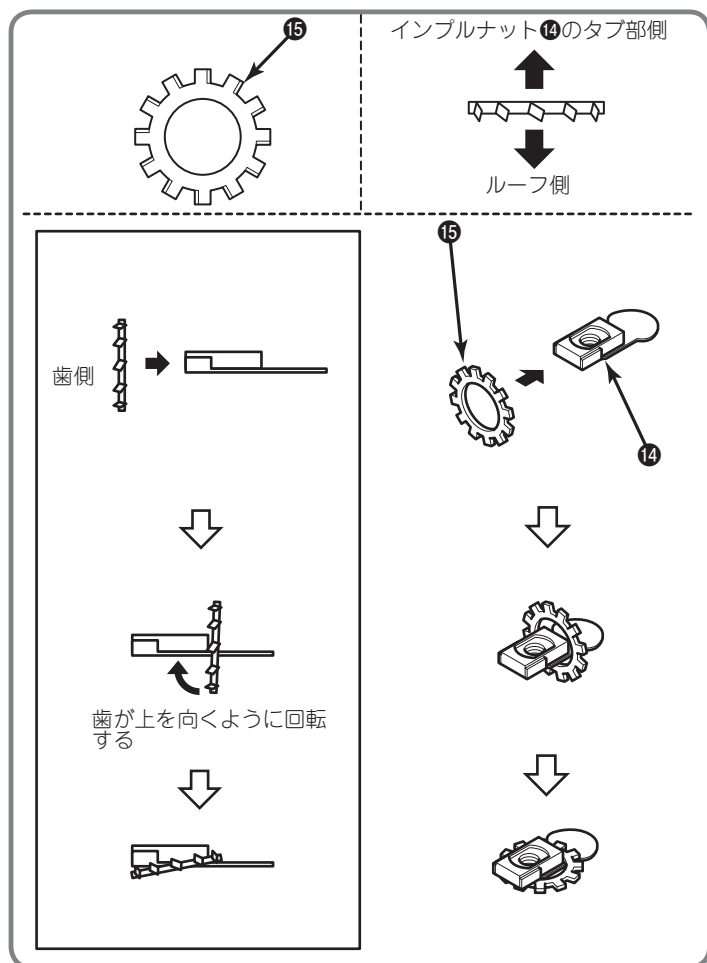


⚠ 警告

※助手席取付ボルトは必ず指定のトルクで締め付けてください。締め付けが弱いとボルトが外れるおそれがあり、事故の原因となります。



アースコードの接続



I アースコードの接続

■ ノーマルルーフの場合

- ① 歯付き座金15の向きを確認する。

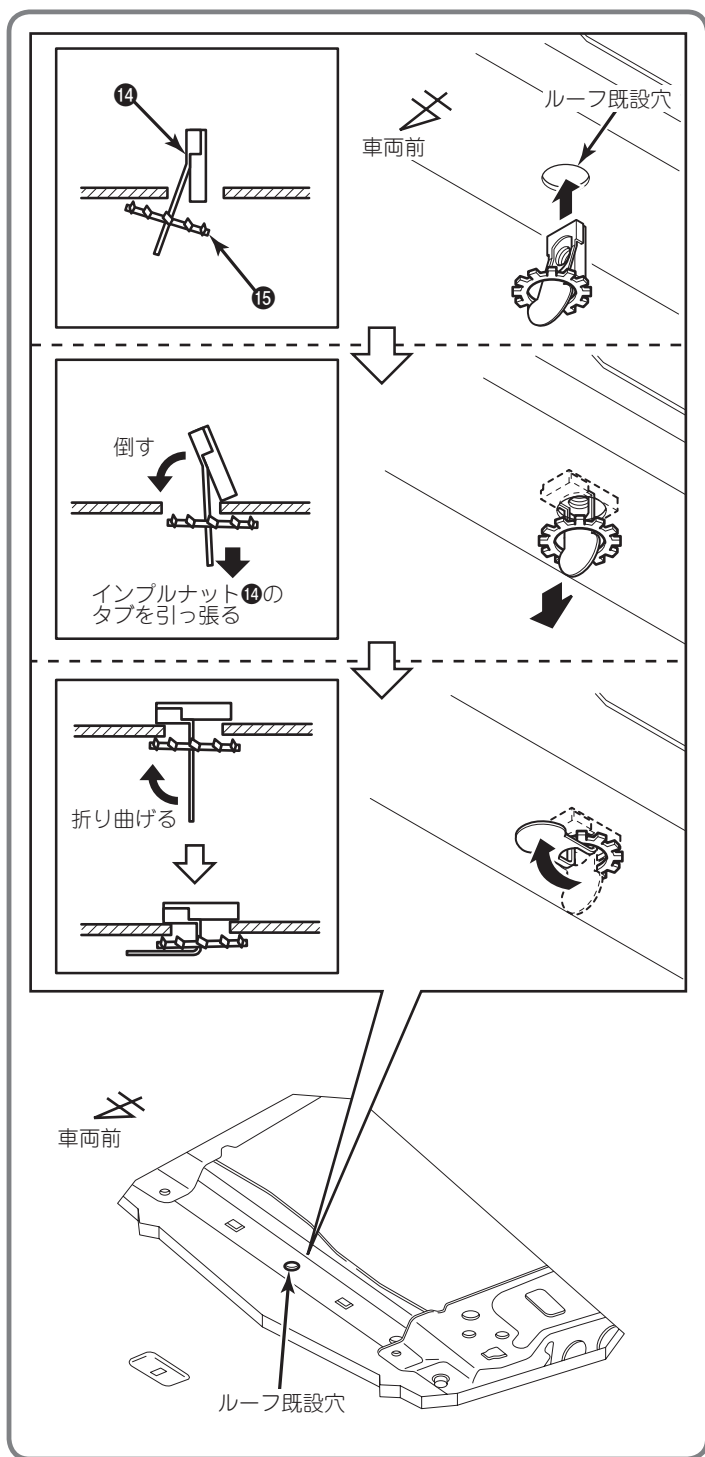
⚠ 注意

- 歯付き座金15の引っかかりがある方が歯側です。

- ② インプルナット14に歯付き座金15を組み付ける。
③ 歯付き座金15の歯が上を向くように回転する。

⚠ 注意

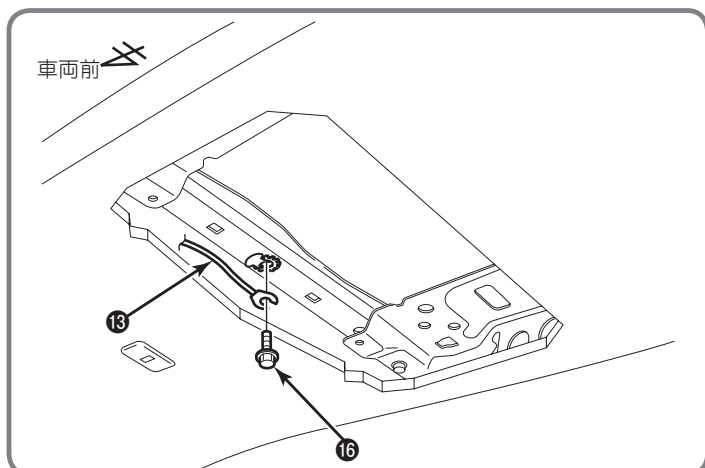
- 歯付き座金15の向きに注意して組み付けてください。
● 歯付き座金15の引っかかりがある方が歯側です。
● 歯側を左図の様に、左側に向けて組み付けてください。



- ④ インブルナット¹⁴をルーフの既設穴に入れる。
- ⑤ インブルナット¹⁴をルーフに引っ掛ける。
- ⑥ インブルナット¹⁴のタブ部を引っ張り、ネジ部を倒す。
- ⑦ インブルナット¹⁴のタブ部を折り曲げる。

🔧 アドバイス

- 歯付き座金¹⁵の歯がルーフ側に向いていることを確認してください。
- タブ部の「折り曲げる⇔戻す」行為を何回も繰り返すとタブ部が折れるので何回も繰り返さないでください。
- タブ部を折り曲げる際、ルーフとタブ部が密着するように折り曲げてください。



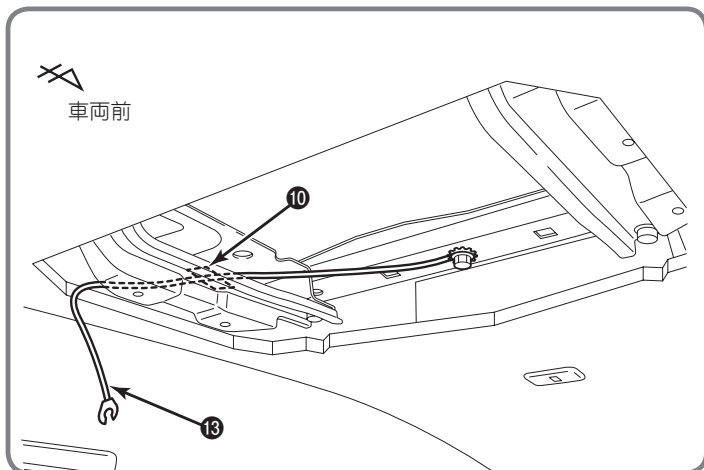
- ⑧ アースコード¹³を六角ボルト¹⁶で取り付ける。

⚠️ 注意

- アースコード¹³の取付ねじは、必ず本製品に付属の六角ボルト¹⁶を使用してください。指定の物以外を使用すると車両を破損する恐れがあります。

🔧 アドバイス

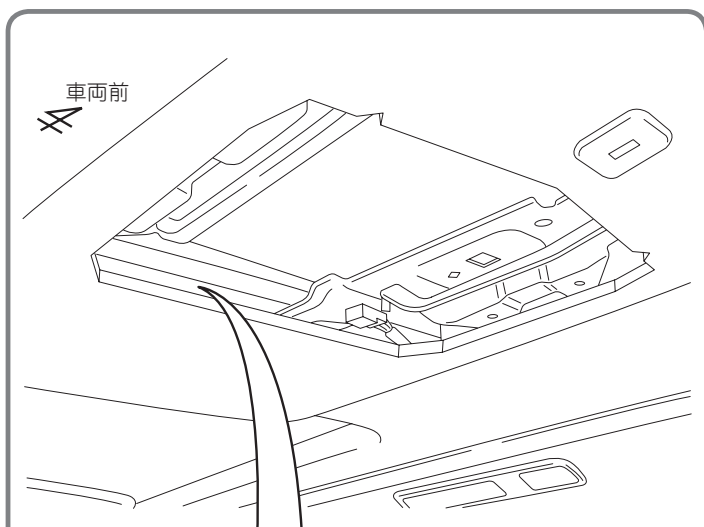
- ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。



- ⑨ アースコード¹³をハーネス固定テープ¹⁰で固定しながら配線する。

🔧 アドバイス

- アースコード¹³の配線は、ブラケット(R)¹およびブラケット(L)²、ブラケット(補助)³を取り付けた後に行ってください。



■ サンルーフの場合

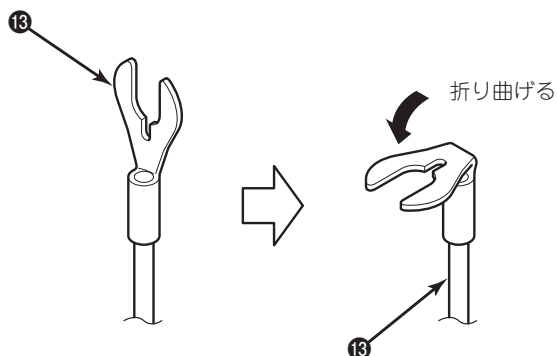
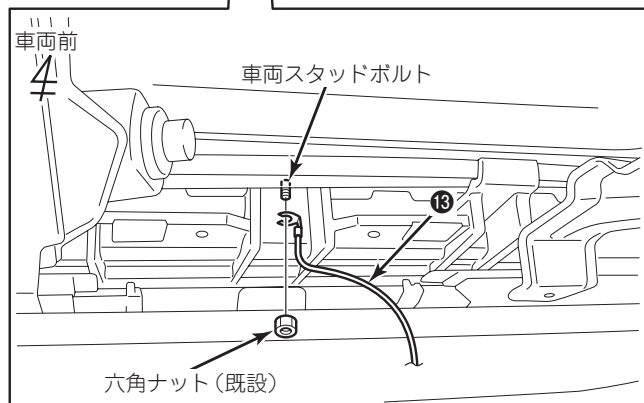
- ⑩ アースコード¹³の端子部を折り曲げる。
⑪ アースコード¹³を六角ナット(既設)で車両スタッドボルトに取り付ける。

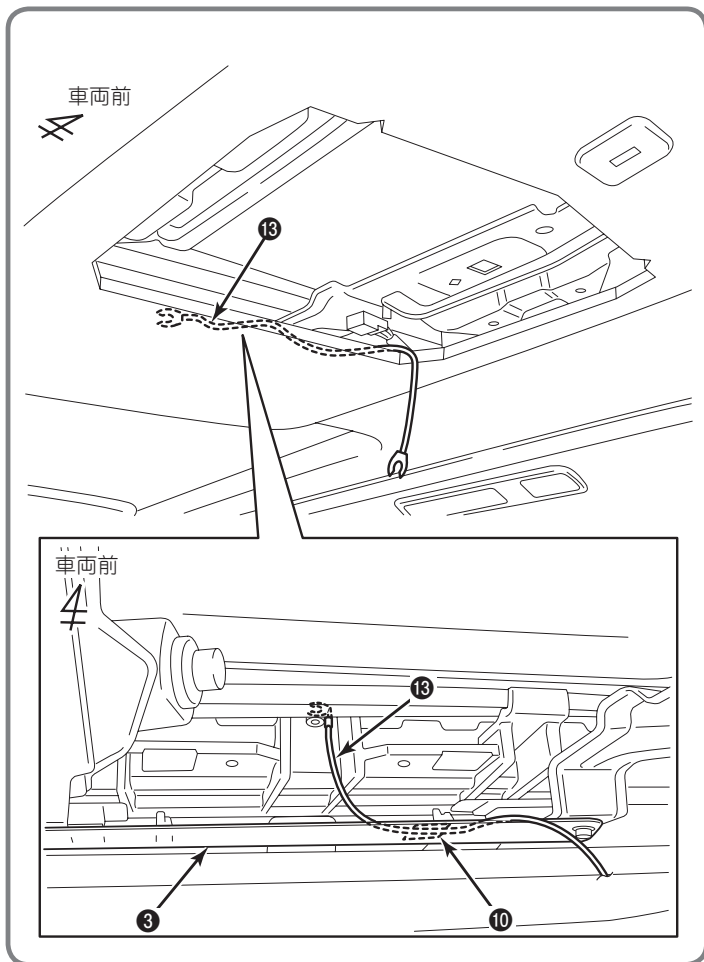
⚠ 注意

- アースコード¹³の取り付けには、必ず車両の六角ナット(既設)を使用してください。

🔧 アドバイス

- 端子部の「折り曲げる⇄戻す」行為を何回も繰り返すと、端子部が折れるので何回も繰り返さないでください。
- アースコード¹³の取り付けは、ブラケット(補助)³を取り付ける前に行ってください。
- ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。



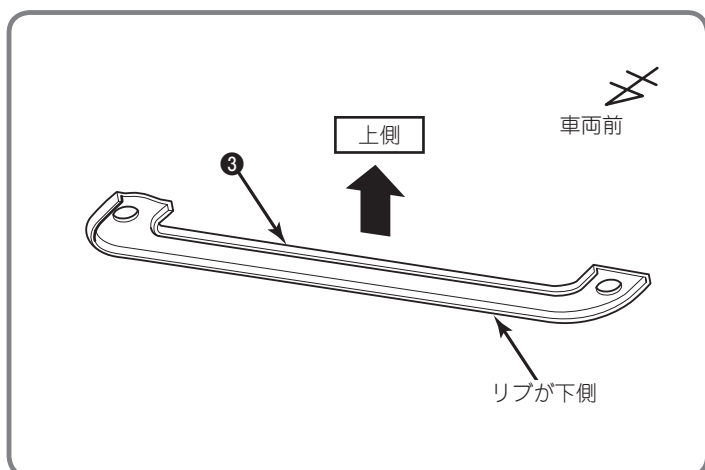
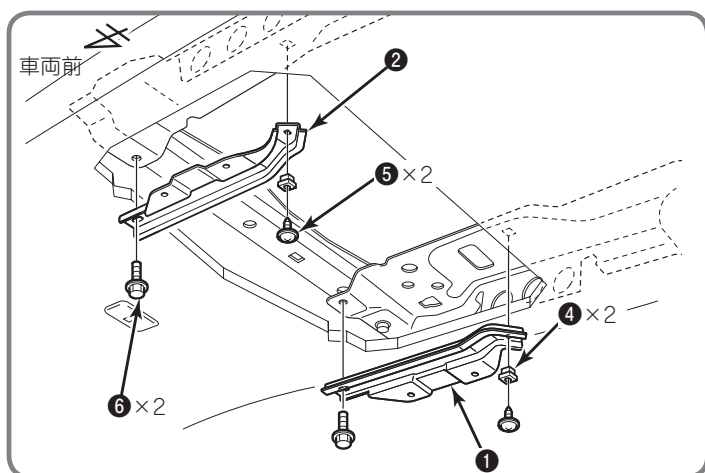
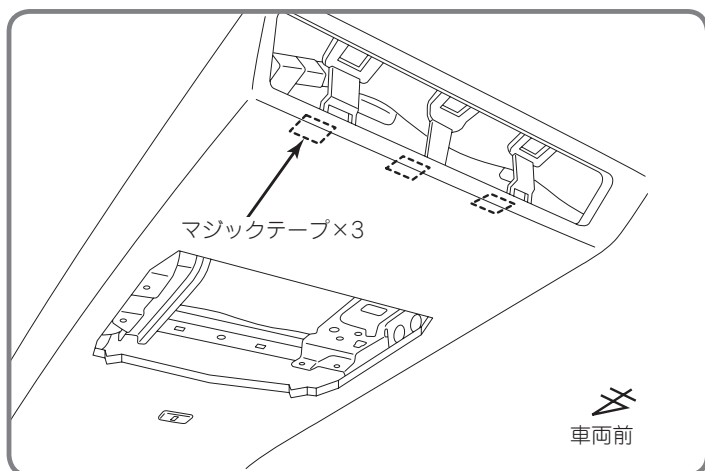
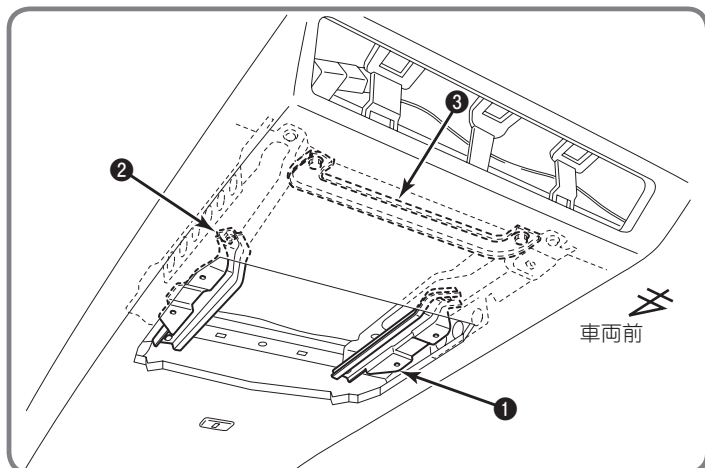


- ⑫ アースコード^⑬をハーネス固定テープ^⑩で固定しながら配線する。

アドバイス

- アースコード^⑬の配線は、ブラケット(R)^①およびブラケット(L)^②、ブラケット(補助)^③を取り付けた後に行ってください。

●ブラケットの取り付け



■ ブラケット取付位置概要

1 ブラケットの取り付け

- ① ルーフヘッドライニング内側のマジックテープを外す。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

🔧 アドバイス

- ブラケットを取り付ける前にアースコード⑬の接続を行ってください。

- ② グロメット④を取付ブラケット(L, R)①・②に取り付ける。
- ③ 取付ブラケット(L, R)①・②を車両に取り付ける。

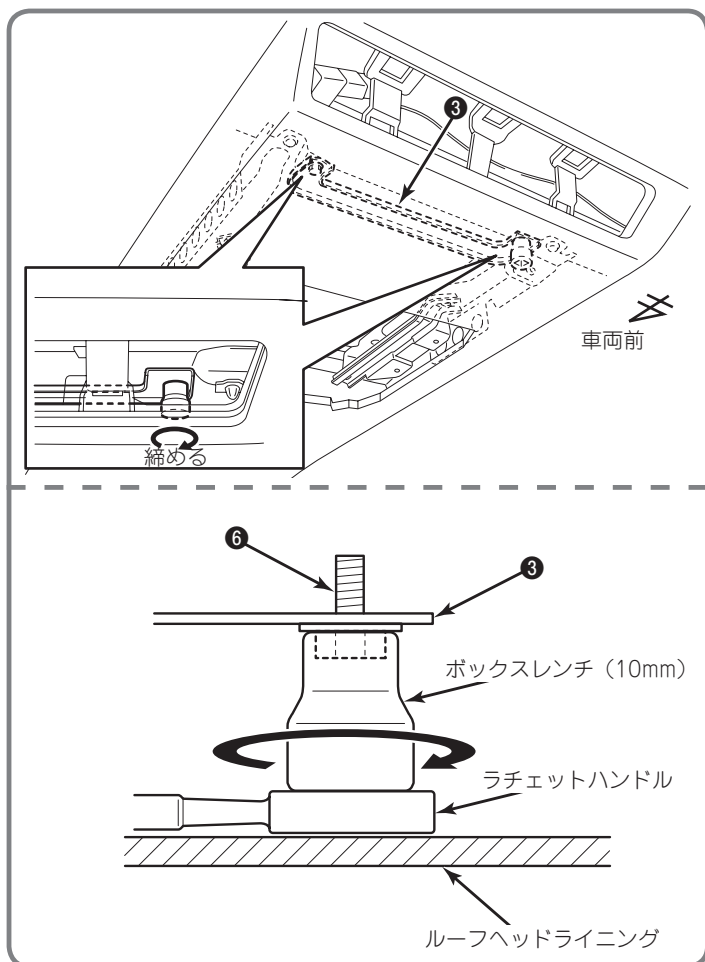
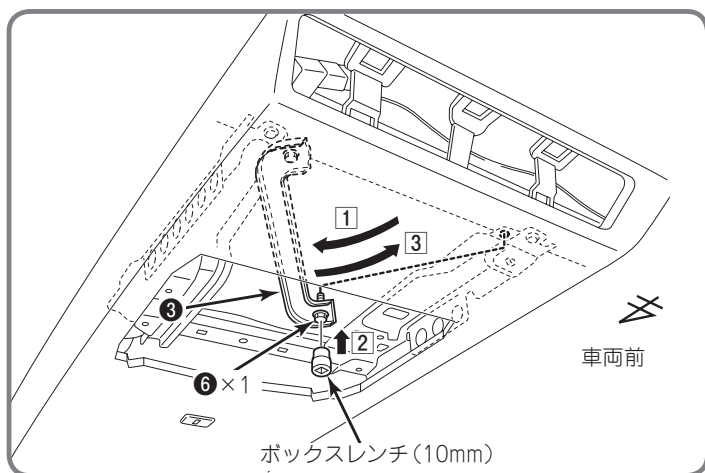
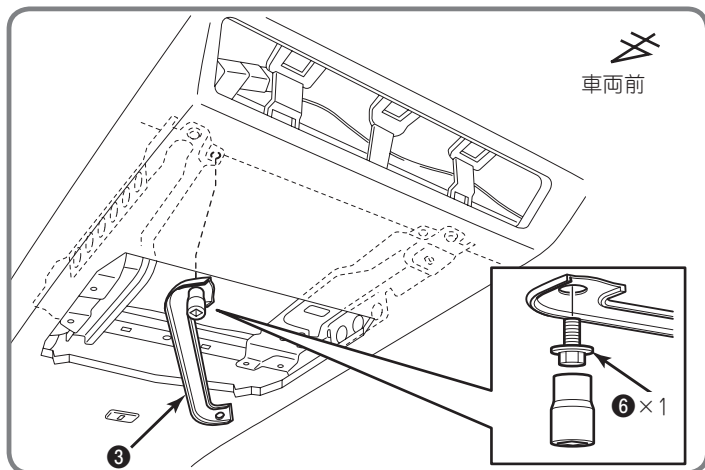
⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

- ④ ブラケット(補助)③の取付向きを確認する。

🔧 アドバイス

- ブラケット(補助)③のリブが下側に向くように取り付けてください。
- 車両前方向に注意してください。



- ⑤ ブラケット(補助)③の左側に、六角ボルト⑥、ボックスレンチ(10mm)の順番に差し込む。
- ⑥ ブラケット(補助)③を仮固定する。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。
- 車両の金属部等で手を切らないよう注意して作業を行ってください。

🔧 アドバイス

- ブラケット(補助)③の右側も同様の作業が必要です。増締めはしないでください。
- ボックスレンチ(10mm)を手で回して、六角ボルト⑥を仮固定してください。
- 左図はノーマルルーフの場合を示しています。サンルーフの場合も同様に作業を行ってください。

- ⑦ ルーフ切り欠き穴からブラケット(補助)③の右側を出し、六角ボルト⑥、ボックスレンチ(10mm)の順番に差し込む。

- ⑧ ブラケット(補助)③に六角ボルト⑥、ボックスレンチ(10mm)を付けたまま、取付位置に取り付ける。
- ⑨ ブラケット(補助)③の六角ボルト⑥(2箇所)を増締めする。

⚠ 注意

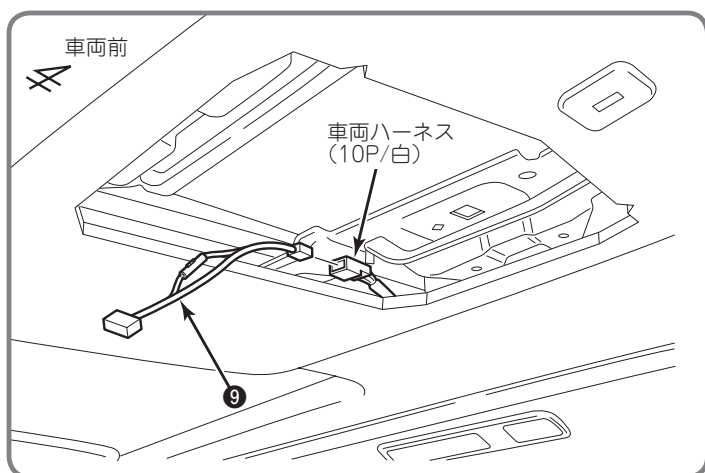
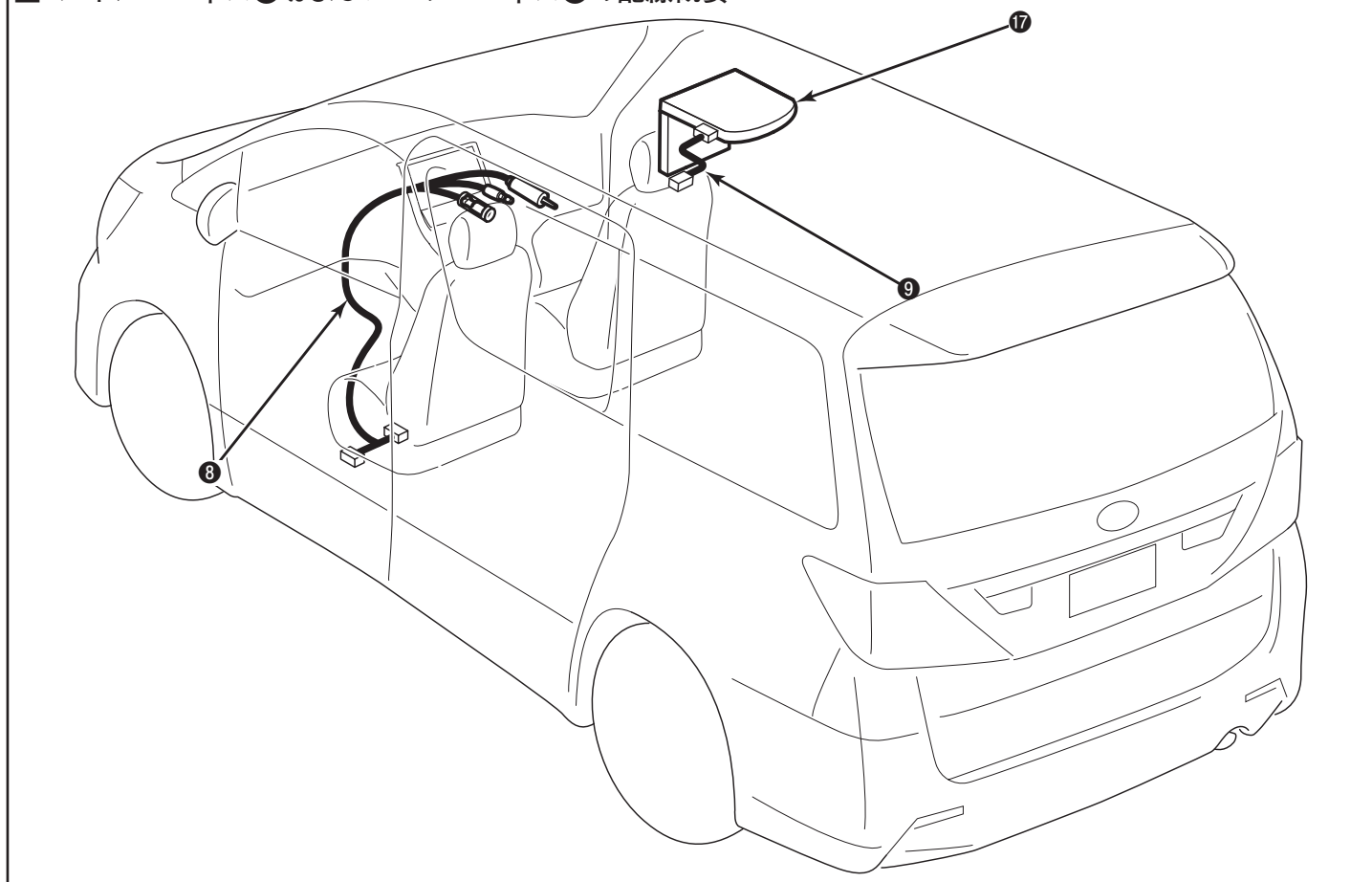
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。
- 車両の金属部等で手を切らないよう注意して作業を行ってください。

🔧 アドバイス

- ラチェットハンドルを使用して六角ボルト⑥(2箇所)を増締めしてください。

○ハーネスの取り付け

■ メインハーネス⑧およびルーフハーネス⑨の配線概要



1 ルーフハーネスを配線する

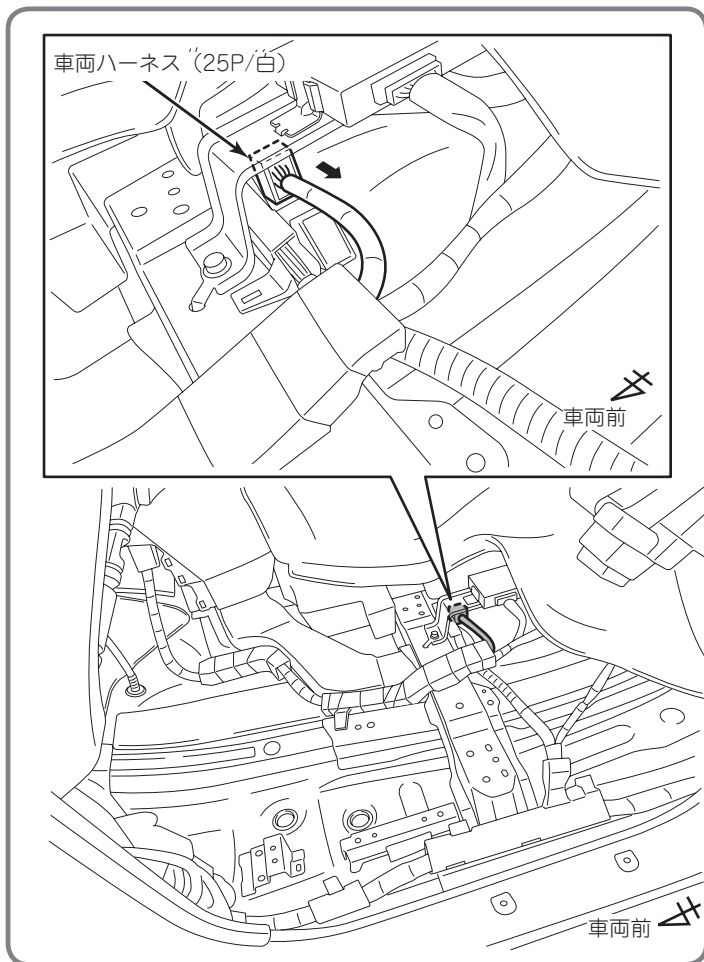
- ① ルーフヘッドライニング裏に固定されている車両ハーネス（オプション10Pコネクター）にルーフハーネス⑨を接続する。
- ② ルーフハーネス⑨をバンドクランプ⑪等で車両に固定する。

⚠ 注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープ⑩およびバンドクランプ⑪でまとめてください。車両の可動部等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

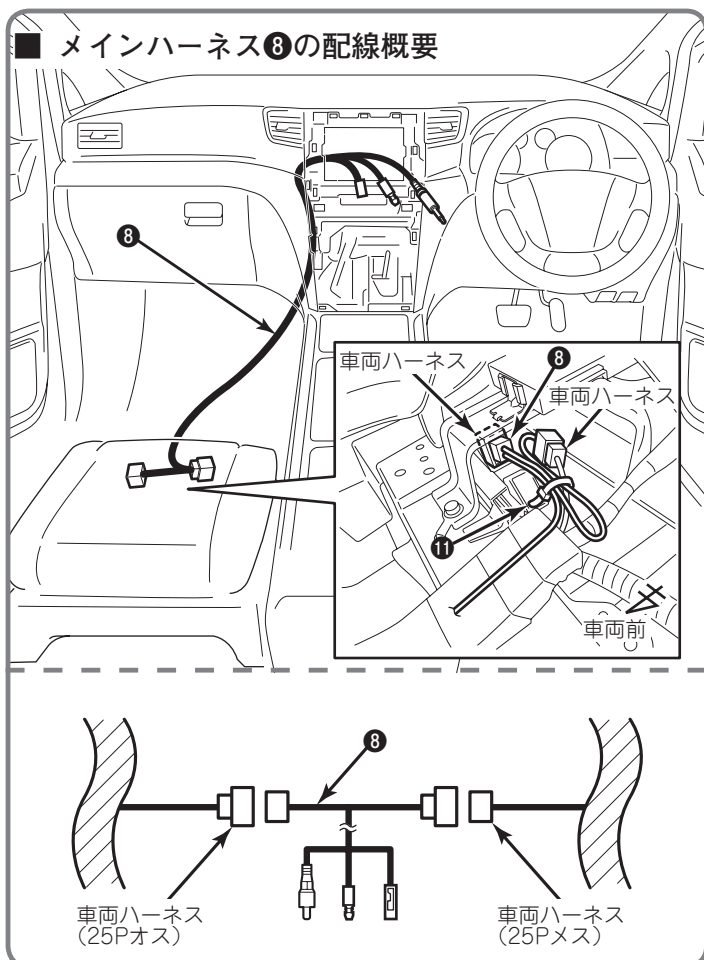
🔧 アドバイス

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープ⑩を貼り付けてください。
- 後席用モニター本体⑬取り付け時、コードのかみ込みが無い事を確認してください。



2 メインハーネスを配線する

- ① 助手席下の車両ハーネスコネクタ(25P/白)を取り外す。



- ② メインハーネス⑧と車両ハーネスを接続する。
- ③ メインハーネス⑧をハーネス固定テープ⑩およびバンドクランプ⑪等で固定しながらオーディオ開口部まで配線する。

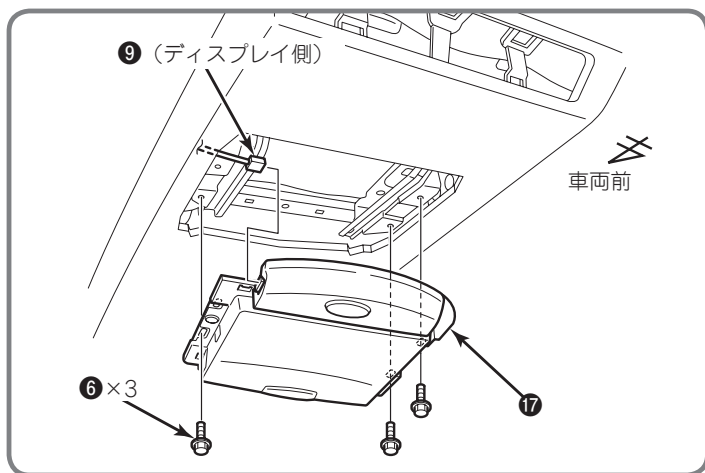
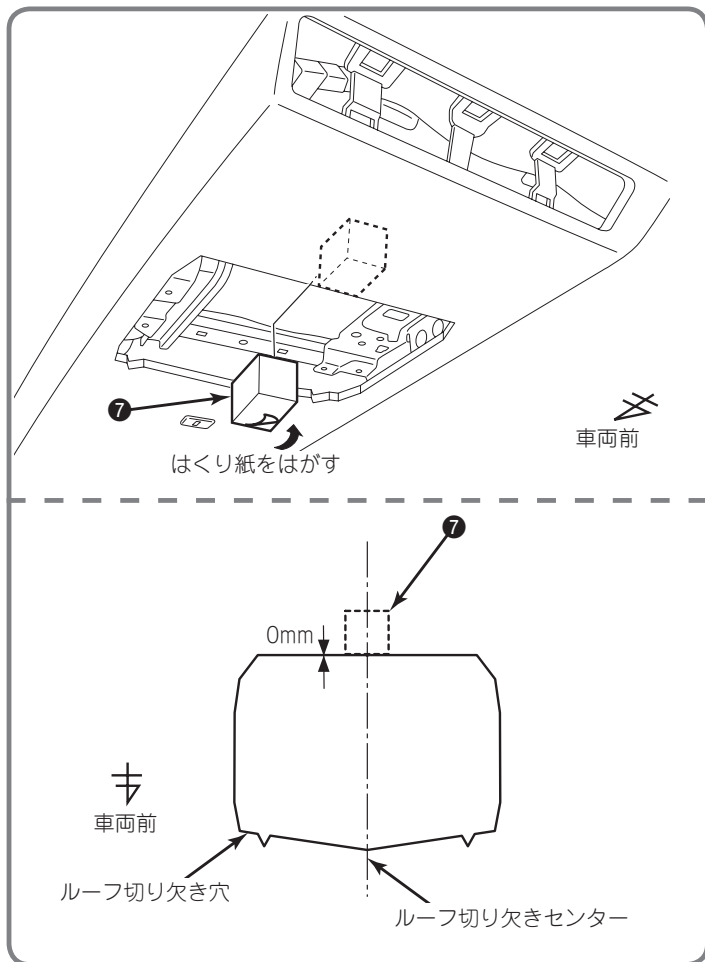
⚠ 注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープ⑩およびバンドクランプ⑪でまとめてください。シフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

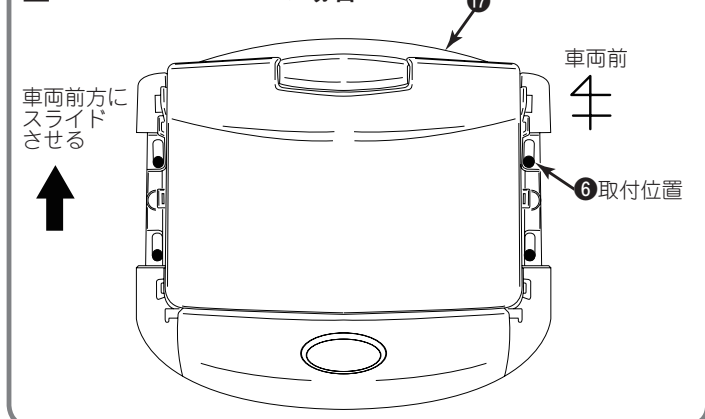
🔧 アドバイス

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープ⑩を貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。

●後席用モニター取り付け



■ ノーマルルーフの場合



1 スポンジスペーサを取り付ける

■ ノーマルルーフの場合

- ① ルーフ切り欠き穴からスポンジスペーサ7を入れる。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

- ② ルーフヘッドライニング内側にスポンジスペーサ7を貼り付ける。

🔧 アドバイス

- 後席用モニター本体17を取り付けた際にルーフヘッドライニングと後席用モニター本体17のすき間を低減する為に、スポンジスペーサ7は必ず取り付けてください。
- サンルーフの場合はスポンジスペーサ7の取り付けは不要です。

2 後席用モニター本体を取り付ける

- ① 後席用モニター本体17にルーフハーネス9を接続し、六角ボルト6で固定する。

⚠ 注意

- 後席用モニター本体17を固定する前に、必ずコネクタを接続してください。

🔧 アドバイス

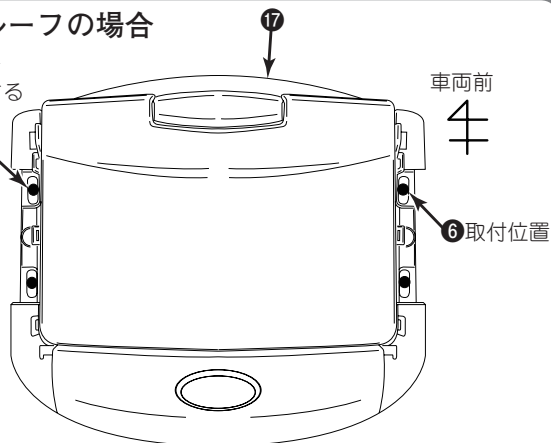
- ルーフハーネス9やアースコード18のかみ込みがないことを確認してください。
- 後席用モニター本体17のガタツキやゆるみが無く固定されている事を確認してください。六角ボルト6の締め付けが弱いと後席モニターが外れ、脱落し思わぬ事故につながる恐れがあります。

🔧 アドバイス

- 後席用モニター本体17を車両前方向にスライドさせて固定してください。

■ サンルーフの場合

ボルト位置を
長穴中央にする



🔧 アドバイス

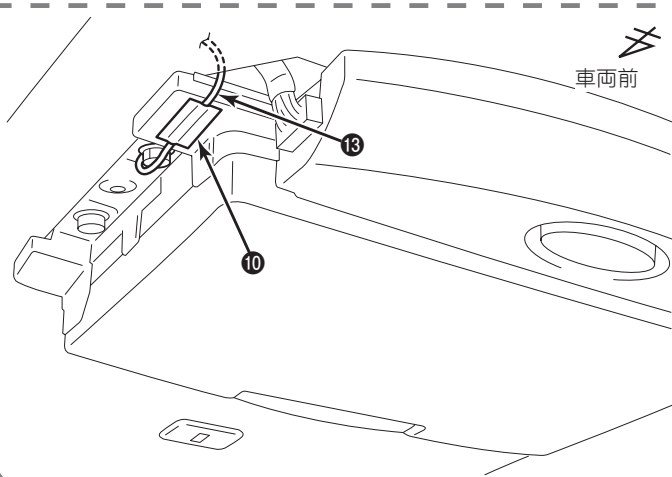
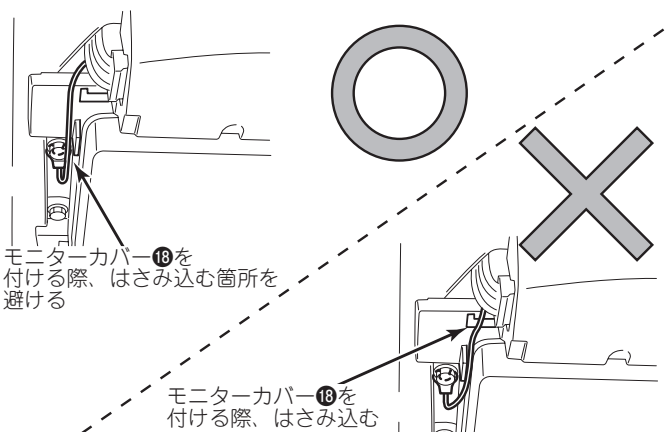
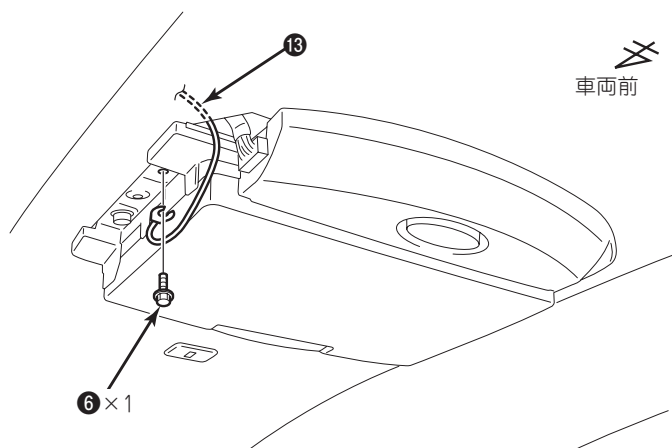
- 車両前方方向にルーフヘッドライニング切り欠き穴が見えていないことを確認してください。
- ルーフヘッドライニング切り欠き穴が見える場合は、後席用モニター本体(17)を前後に調整して取り付けてください。

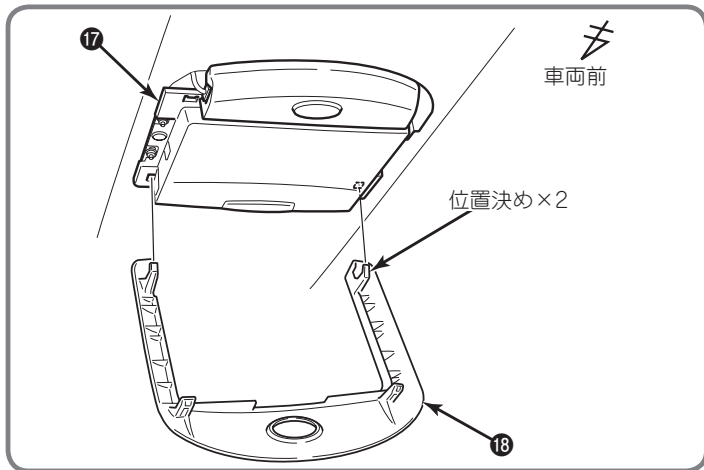
3 アースコードを取り付ける

- ① アースコード(13)を六角ボルト(6)で固定する。
- ② アースコード(13)をハーネス固定テープ(10)で固定しながら配線する。

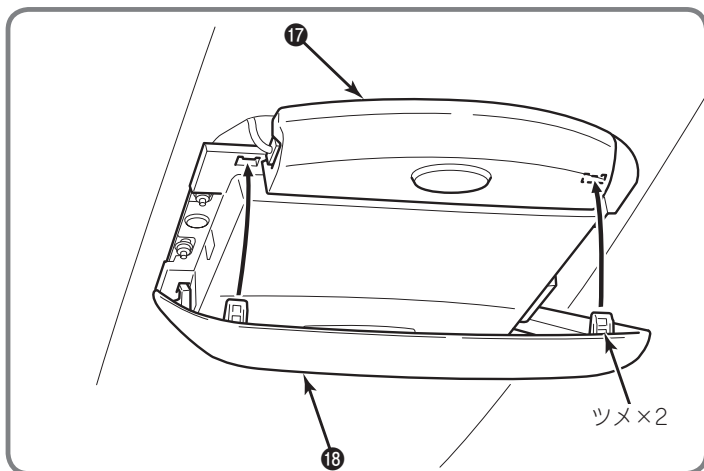
🔧 アドバイス

- ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

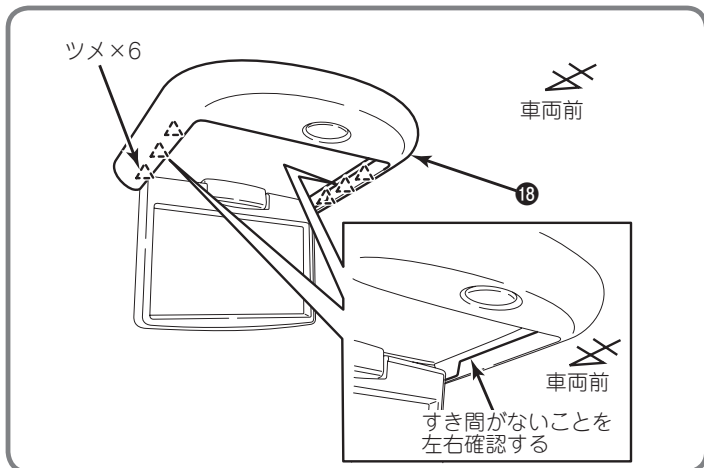




- ③ 後席用モニター本体¹⁷にモニターカバー¹⁸の位置決めを差し込む。



- ④ 後席用モニター本体¹⁷にモニターカバー¹⁸を取り付ける。



🔧 アドバイス

- モニターカバー¹⁸内側のツメが後席用モニター本体¹⁷にしっかりと入っていることを確認してください。
- すき間があいている場合は、カチッと音がするまでモニターカバー¹⁸を押し込んでください。

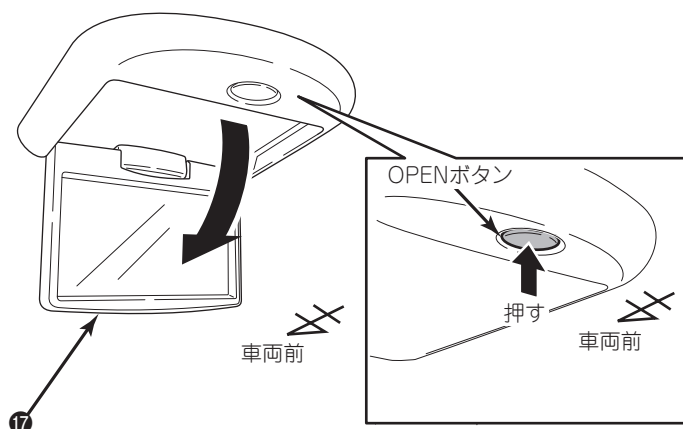
●取り付け後の作動確認

1 車両のエンジンを始動し、ナビゲーション等を起動する

🔧 アドバイス

- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 ディスプレイを開く



- ① 後席用モニター本体⑱ OPEN ボタンを押し、ディスプレイを開く。

- 指で押すとディスプレイ部が開き、電源がONになることを確認してください。
- ディスプレイ部が固定される位置まで手動で引きます。

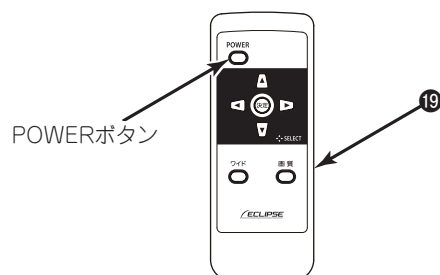
3 映像が映ることを確認する

- ① ナビゲーション側を AV モードの TV や DVD に切り替え、後席モニター本体に映像が映る事を確認する。

お願い

- 後席モニター本体⑱に映像が映らない場合は、映像入力端子の接続状態を確認してください。

4 電源の ON/OFF が出来る事を確認する



- ① リモコン⑱のPOWERボタンを操作し、電源のON/OFFが出来る事を確認する。



090003-32850700
1209 (CN)